

平成26年度外部評価結果及び委員の主な意見

平成26年7月26日 実施分

整理 番号	課名	子事業名	要 改 善	ど おり 現 行	廃 止
1	観光振興課	あつぎ鮎まつり事業費	5	0	0
主な意見					
【手段・手法について】 ①事業の必要性は十分認識できるが、委託する業務内容と金額について拡大を含めて検討していただきたいです。 ②事業の拠出資金は協賛金ではなく、委託費であるため、具体的な拠出使途、それに対する精査結果を次年度への予算反映という一連のフローは必要だと感じます。 ③事業費の増額分については、目的とコストをより明確にしてほしいです。特にリスクを列挙して安心・安全に力を入れることが肝要だと思います。 ④催物や実行委員会の構成に新しさを取り入れる必要があると思います。 【事業費内訳について】 ⑤内容ありきの予算確保はむずかしいと認識していますが、可能な限り実施内容に沿った形での拠出を期待したいです。 【今後の方向性（中長期的な展望について）】 ⑥市のイメージアップを目的にするのであれば、行政の関与が更に必要であると感じます。 あつぎ鮎まつり事業費として、安心・安全以外の部分でも行政として関与するべきところがあると感じます。 【市民への事業周知方法・内容について】 ⑦来場者拡大に向け、事業の周知方法を見直す必要があります。					

平成26年度外部評価結果及び委員の主な意見

平成26年7月26日 実施分

整理 番号	課名	子事業名	要 改 善	ど おり 現 行	廃 止
2	くらし交通安全課	街頭犯罪対策事業費	3	2	0
主な意見					
【事業詳細について】 ①厚木市全体の安心・安全を考えるのであれば、人員不足であると思います。是非、拡大してほしいです。 ②全て警察官OBの方というのは安心ですが、市内には、防犯や災害等に関心がある方も多いと思います。いざという時に備えて、2人1組の1人は、警察OB以外の人として、抑止に繋がる受け皿を準備、育てていく必要があると思います。ただし、車代、ガソリン代が除かれていることでコストが見えにくくなっていることは、問題だと思います。 ③最低でも前年並み＋4人の確保は必要だと考えます。 【事業効果のアピールについて】 ④効果が表れているので、現行どおり様子を見てはと思います。 ⑤平成26年度は、予算、事業ともに縮小となったので、これで悪影響があるかないかを今年度の実績を見た上で来年度、再考すると良いと思います。これまでの実績は十分上がっていると感じます。 【市民への事業周知方法・内容について】 ⑥地区ごと刑法犯認知件数を積極的に開示してほしいです。					

平成26年度外部評価結果及び委員の主な意見

平成26年7月26日 実施分

整理番号	課名	子事業名	要改善	どおり 現行	廃止
3	産業振興課	勤労者住宅資金利子補給金	1	0	4
主な意見					
【事業対象について】 ①補助を受けられるのが、勤労者だけに限定していることや中央労働金庫という一つの金融機関に限定しているため、事業対象の再検討の必要性があると思います。 【今後の方向性（中長期的な展望）について】 ②当事業が廃止されると、産業振興としては、厚木市のマイホーム取得への助成がなくなるが、他金融機関利用者との公平性も保たれていないため、事業の廃止を含めた検討が必要だと感じます。 ③部の方針により、事業対象や手段・手法を見直すとの方向を示しているので、その方向で進めてよいと思います。 ④現在、この助成を受けている市民への継続を除き、スクラップをしてほしいです。歴史的な役割はほぼ終わったと感じます。					

平成26年度外部評価結果及び委員の主な意見

平成26年7月26日 実施分

整理 番号	課名	子事業名	要 改 善	ど おり 現 行	廃 止
4	秘書課	海外友好都市受入・派遣事業	4	1	0
主な意見					
【実施主体について】 ①予算において委託料となっているため、事業費が不透明になっています。委託料ではなく、市の直営という事業の実態に近い形で運営すべきだと感じます。友好交流委員会との役割分担を明確にすべきです。 【手段・手法について】 ②市民文化の向上を図る意味でも、海外友好交流は必要であると感じますが、手段手法の改善を考えるべきです。 ③海外との交流は、今後にも必要なことですが、今後、手段・手法については、改善は必要です。 【今後の方向性（中長期的な展望）について】 ④将来のビジョン、特色を反映した事業にしてほしいです。 ⑤ビジョンを示し、中期計画を明確にする必要があるます。市のポリシーや戦略と関連付け、英語圏での新たな友好都市をもう一つ探してもよいと思います。 【市民への事業周知方法・内容について】 ⑥国際的な諸問題に配慮して実施内容が変化するのは理解できるが、そのために、何が必要で何を求められているのか明示する必要があると思います。 【その他】 ⑦海外旅行ではなく、公務としての認識を持ってほしいです。派遣された市民の方に、どういう仕事をしてほしいか説明する必要があると思います。					

平成26年度外部評価結果及び委員の主な意見

平成26年7月27日 実施分

整理 番号	課名	子事業名	要 改 善	ど おり 現 行	廃 止
5	福祉総務課	療育支援事業	4	1	0
主な意見					
【今後の方向性（中長期的な展望）について】 ①事業の必要性は十分理解できるが、事業費が年々増加していくことを考えると、本当に市の事業として拡充することを再度、検討していただきたいです。その中で、民間活用を含めた形で検討をお願いします。 ②国及び県の方針（特定財源）でもあり、法に沿ったものなので、継続が妥当だと考えます。 ③骨子、方向性については、賛同できます。現状の課題に対して、対象となる幼児の拡充は、理解できますが、対象者を18歳未満まで幅広く網羅すると考えれば、対応できる体制の構築をお願いします。 ④必要性は十分認められ、今後の事業の充実の方向は正しいと思います。しかし、最後は「人」の要素が強く、保育士、セラピストなどの専門職、担当事務職員への研修、諸機関との連携の必要を強く感じます。 【代表的な事業指標について】 ⑤業務の実態が見えにくく現状から判断をすれば、相談者からの電話を待っている状態のように見受けられます。窓口として確保されていることは大切だが、市民への説明を考えれば、事業指標の研究が不可欠のように思います。 【市民への事業周知方法・内容について】 ⑥早期発見、早期療育に繋がられた事例を示してほしいです。 【その他】 ⑦他部署との連携が更に必要だと感じます。					

平成26年度外部評価結果及び委員の主な意見

平成26年7月27日 実施分

整理番号	課名	子事業名	要改善	どおり 現行	廃止
6	環境政策課	温暖化防止推進事業費	4	1	0
主な意見					
【手段・手法について】 ①戸建住宅だけにとらわれず、集合住宅等への推進もしていただきたい。 ②当事業が市民の再生可能エネルギー導入へのインセンティブになっているようには感じられないため、この事業内で更なる事業手段の効率化が求められると思います。 【代表的な事業指標について】 ③本事業の目的には、エネルギー消費意識の向上もあり、H E M S の設置件数の増加が必要だと感じます。 【今後の方向性（中長期的な展望）について】 ④既に実施計画が策定されており、時代の要請等もありますので、継続が妥当だと考えます。ただし、手段・手法の見直しも必要だと考えます。 ⑤経済的負担に対して、補助割合が低いと思います。売電収入を含め、具体的な支出シュミレーションの開示等に配慮しながら、事業を強化すべきです。 ⑥太陽光パネルの補助については、戸数の増加に結びついていないとは考えにくいです。例えば、H E M S と B E M S を拡大するなど、市民の省エネ意識の向上に焦点を当てるなどの工夫がほしいです。こういったものを、厚木市の特色にすると良いと思います。 【市民への事業周知方法・内容について】 ⑦クリーンエネルギーの導入は、厚木市にとっても必要であると思いますが、市民への周知が不足しているように感じられます。 【その他】 ⑧申請から支給まで期間を短くしてほしい。					

平成26年度外部評価結果及び委員の主な意見

平成26年7月27日 実施分

整理 番号	課名	子事業名	要 改善	ど おり 現 行	廃 止
7-1	高齢福祉課	家族等支援事業費 (慰労金支給事業)	4	0	1
主な意見					
【事業対象について】 ①中長期的には、廃止もありうると思います。本当に必要な世帯のみに支給するよう縮小が望ましいと思います。この予算の振替は、ねたきり老人等の予防対策に使っていただきたいです。 【手段・手法について】 ②高齢化が進む中で、再度事業内容の見直しを検討していただきたいです。また、他市の現状も含めて考えていただければと思います。 ③現金をいただけるほどうれしいことはないと思います。今から廃止すべきというよりも、介護保険導入時に廃止すべきであったと思います。 ④他に高齢者への支援策を7つ実施しており、現金よりも他の方法で縮小、改善が必要であると考えます。 ⑤条件、対象を明確化させ、負担に併せて支給する予算としてほしいです。金銭だと利用者の自由度は違うはずです。 【市民への事業周知方法・内容について】 ⑥他市に倣う必要はないが、厚木市の特色として他市と比較したときに、なぜ手厚く支援しているのかを分かりやすく周知する必要があると感じます。					

平成26年度外部評価結果及び委員の主な意見

平成26年7月27日 実施分

整理 番号	課名	子事業名	要 改 善	ど おり 現 行	廃 止
7-2	高齢福祉課	家族等支援事業費 (位置情報検索サービス)	0	4	0
主な意見					
【事業対象について】 ①利用率15パーセントは、明らかに補助内容がニーズに一致してない思います。はいかいＳＯＳというタイトルは、はいかいに対して相当な意識を持つ家庭にだけに認知されていると推測されます。 【手段・手法について】 ②業務委託先の検討やより活用しやすい方向を見出してほしいです。 ③他の利用手段が流通しているように思われます。 ④機器の変更を検討してみたら良いと思います。 【今後の方向性及び市民への事業周知について】 ⑤まだ実証実験段階ではないかと感じます。引き続き利用の拡大の模索と有効に役立った例を公開していくと良いと思います。					

平成26年度外部評価結果及び委員の主な意見

平成26年7月27日 実施分

整理番号	課名	子事業名	見直し	どおり 現行	廃止
8	学校教育課	外国語指導助手配置事業	2	3	0
主な意見					
【手段・手法について】 ①教育を受けている児童を見る限り、確実に効果が出ていると考えます。市内在住者若しくは、市内事業者との連携をより深めてほしいと思います。 ②コスト、ベネフィットからいうと、委託（手法）見直しと各学校での総合的な学習の時間の工夫、ボランティアの活動などで、生徒が英語に接する時間を増やしつつ、コストを抑えることが可能だと思います。 【今後の方向性（中長期的な展望）について】 ③生きた英語を身に付けていくためには、必要な事業であると思います。厚木市の小中学生に是非、国際化を進めてほしいです。 ④現状では、問題は見当たらないように思います。より英語力を重視する方向性が現状の目標には沿っていると思います。 ⑤文部科学省の基本方針（拡充）があり、また時代に沿ったものであると考えます。 【その他】 小学校では、教諭のスキル、A L Tを派遣していない英語の時間のボトムを上げていただきたいと思います。					